

2008年 1月 25日

広島市長 秋葉忠利 様  
教育長 岡本茂信 様

日本共産党広島市議団  
団長 皆川恵史  
幹事長 中森辰一  
中原ひろみ  
村上あつ子  
藤井とし子

### 特別支援学校の教育環境の充実を求める要望書

平成17年に特別支援学校の建替え計画が示されたものの、建設用地がないとの理由で開校への目途がたたない状況に、多くの保護者や教育関係者から苛立ちの声が上がっています。年々、高等部の生徒が増え続け、マンモス化した特別支援学校は、施設も人も「がまんの限界」です。建替えが延期になっている現在、狭隘な施設で教育を受けざるを得ない障害児や教諭に対して、最善の教育環境を保障することは市の責任です。

よって、以下のことを要望します。

- ① 医療的ケアの必要な児童生徒の増加により、当初予算の584万円では足りない状況が発生しています。今年度は当面、不用額などを流用し、看護師による医療的ケアを年度末まで維持してください。また、看護師も1人体制では休みもとれずストレスを抱えています。来年度は、看護師の増員とともに、一日の医療的ケアの時間が充分にとれる予算を確保して下さい。
- ② 主な校舎は昭和27年に建築されて、既に55年も経過し老朽化しています。加えて芸予地震などの影響を受け、壁はひび割れ、雨漏りし、校舎の継ぎ目の段差により、車椅子の移動は危険になっています。早急に改修してください。
- ③ クーラーを残り4つの特別教室に整備して下さい。
- ④ 小さい用地に分離増設し、早急に現在のマンモス化を解消してください。

以上